

Linda

防カビ・抗菌コーティング剤

防カビ抗菌コート

高耐久

優れた耐久性で、効果が6ヶ月以上持続！！

バスクリナーで洗っても、取れにくい！！

※ 使用場所、使用環境により異なります。

抗菌

防カビ

防臭

約60種類のカビを含む
2000種類以上の菌に効果のある
防カビ抗菌剤を使用。

カビや菌の発生に抑制・防止効果を発揮します。



浴室内(タイル、壁、換気扇等)、エアコン内部等
カビの生えやすい場所に



空き容器は
コンパクトに
折りたためます。

荷 姿	製品コード	管理No.
2kg/ケース	4611	NB48
JANコード		
4979782046116		

※ シックハウスの原因としてあげられた厚生労働省指針該当成分(13物質)については、これらを原料として使用していません。
※ ここに明示された以外の詳細事項に関しては、弊社発行の安全データシートをご覧ください。

YOKOHAMA OILS & FATS INDUSTRY CO.,LTD.

用 途 ※用途以外での使用はしないでください。

浴室内、サッシ、コーキング目地、エアコン内部等カビの生えやすい箇所の防カビ・抗菌コート

【注 意】

- ・木材・漆喰等、本品の吸込みが多い材質は変色する恐れがあります。
- ・目立たない所で確認してから使用してください。
- ・材質によっては本品が密着しない場合があります。
- ・可動部への塗布は運転に支障をきたす恐れがあります。
- ・フィルター等は塗布量によって目詰まりを起こす場合があります。
- ・布製品には使用できません。
- ・塗布した箇所によっては外観が変わったり、濃い箇所で水気の多い環境下では白化したりする場合があります。
- ・浴室の床などに塗布すると滑りやすくなる場合があります。

カビの発生を抑えることで
嫌なカビの臭いを抑制!!
防カビ抗菌効果が
長期間持続します。

使用方法 ※作業をする際には、換気を良くして行ってください。

◆浴室内◆

- ① 洗浄：浴室内の洗浄を行い汚れ・カビを除去します。エプロン内は高圧洗浄を行うと効果的です。洗浄後は水で十分にすすいでください。
- ② 乾燥：壁面、天井はタオル等で拭き上げてください。エプロン内は送風機、ブローア等で水気をしっかり飛ばし、乾燥させてください。
- ③ コート剤塗布(原液使用)：壁面・天井はハケやローラーを使用して原液のまま薄く塗布してください。エプロン内部は噴霧器またはハケを使用して原液のまま薄く塗布してください。目的箇所以外に付着した余分なコート剤は拭き取ってください。
- ④ 乾燥：換気を行いながらコート剤を乾燥させてください。夏場は約30分、冬場は約1時間を目安に行ってください。

■ 標準使用量：8~9ml/m²

噴霧には高圧洗浄機は使用しないでください。
故障の原因になります。

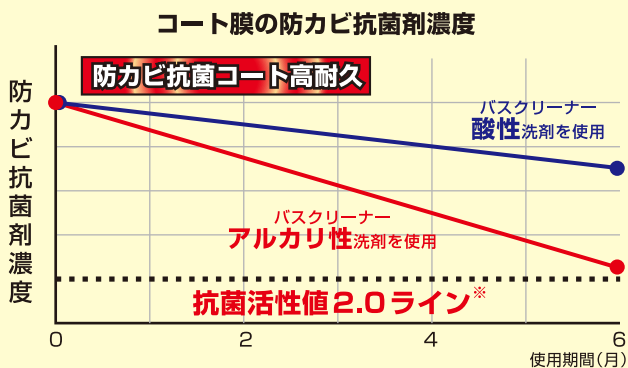
◆エアコン内部◆

- ① 洗浄：高圧洗浄機を用いて「シルバー Nプラス」で洗浄、「シルバー リンスプラス」でリンスを行い、アルミフィンが中性であることを確認してください。
- ※「シルバーリンスプラス」は10倍以上に希釈して使用してください。
- ② 乾燥：ブローア等を用いてしっかりと水気を飛ばしてください。
- ③ コート剤塗布(原液使用)：噴霧器を使用してエアコン内部に本品を噴霧してください。噴霧器はコート剤以外に使用しないでください。
- ④ エアコン組立
- ⑤ 試運転・送風(1分間)
- ⑥ 乾燥：夏場は30分、冬場は1時間程度放置し乾燥させた後、必ず換気を行いながら5分程度運転させてください。

■ 標準使用量

- 壁掛けエアコン1台・・・100~150ml
- 業務用エアコン1台・・・250ml
- ・噴霧箇所はアルミフィン、ドレンパン、送風ファンです。
- ・使用量は噴霧器やエアコンのサイズによって異なります。

耐久性試験



浴室洗剤を含ませたスポンジでコート膜を擦り洗いし、6ヶ月間の期間を想定したコート膜に残存する防カビ抗菌剤を定量。

※ 抗菌活性値2.0以上(99%以上の死滅率)のとき、抗菌効果があると判断される。

抗菌のメカニズム

菌をただ殺すのではなく、同種に危険信号を与えて、寄せ付けません。(忌避効果)この非接触型メカニズムにより、細菌だけでなくカビにも、抑制・防止効果を発揮します。

STEP 1

菌の細胞壁を破壊。



STEP 2

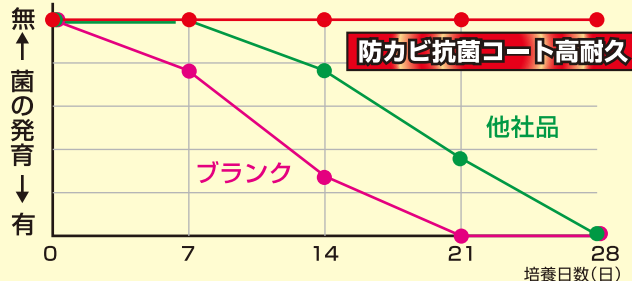
細胞壁を破壊し、菌を仮死状態に。



STEP 3

仮死状態の菌の忌避効果により同種の菌を近づけない。

防カビ試験



住宅環境で検出頻度の高い約60菌種を含む71菌に対するの抵抗性を試験

	3ヶ月相当	1年相当
当本品	○	○
他社品	○	×
ブランク	×	×

※実験室内のデータです。実際の使用条件によって変わります。

カビ抵抗性試験の結果



※培養器と培養条件により、強制的にカビが発生しやすい環境にしています。

Linda 横浜油脂工業株式会社

URL <http://www.yof-linda.co.jp>

本 社 / 横浜市西区南浅間町1-1 〒220-0074 TEL (045) 313-8256 (直)

大阪営業課 / TEL (06) 6471-1820 (直) 名古屋営業所 / TEL (052) 855-2231 (代)

札幌営業所 / TEL (011) 873-4861 (代) 福岡営業所 / TEL (092) 687-5566 (代)

仙台営業所 / TEL (022) 782-1720 (代)

お問い合わせは

YOKOHAMA OILS & FATS INDUSTRY CO.,LTD.